

～特集～読書の秋とみしまっ子 絵本の世界から未来へ



三島は、昔から太宰治や若山牧水など、多くの文豪が訪れ、また児童文学者の小出正吾、詩人の大岡信さんを輩出するなど、文学にゆかりのあるまちです。現在では、宮西達也さんをはじめとした絵本作家の皆さんも活躍しています。今回、三島にゆかりのある絵本作家の3人がみしまっ子へメッセージと絵を贈ってくれました。この機会に絵本の世界に飛び込んでみましょう。

問合せ 文化振興課 (☎983-2672)、図書館 (☎983-0880)、学校教育課 (☎983-2670)

緑が沢山あつて、水がきれいな
三島。こんなステキな三島で、
のびのび遊んでください。勉強もが
んばってください。いっぱい感動し
てください。そして、夢を持って生
きてください。僕が子どものときの
夢は、絵を描く仕事でした。その夢
がかなって絵本作家になることがで
きました。そして、沢山の人たちに
支えられ、絵本が映画になったり、
舞台になったりしました。

宮西 達也



宮西達也

市内在住の絵本作家。清水町で育ち、日本大学芸術学部美術学科卒業。アニメ映画化された作品や、受賞作も多く、幅広い世代から人気を集めている。



本の面白さを伝える

佐野美術館の関連イベントとして、宮西達也さんが市内の幼稚園・保育園・小学校で絵本の読み聞かせを10月下旬まで行います。佐野美術館の企画展については本紙20ページをご覧ください。小学生は右のパスポート提示で佐野美術館に無料で入館できます。



▲9月2日のピーターパン幼稚園での読み聞かせでは、みんな大喜びでした

ミュージアムへ行こう

小学生には、学校を通じて横山大観《群青富士》の絵柄のファイルと冊子がセットになった「しずおかミュージアムパスポート」がプレゼントされています。県内約40の美術館や博物館でパスポートを見せると、小学生は無料で入館できます。詳しくは、学校に掲示されているミュージアム通信(毎月発行)または、ホームページ(<http://kidsart-shizuoka.com/>)をご覧ください。





小 さなころに
ドキドキわ
くわくした体験は、
大人になつてから
も色あせずにずつ
と心に刻まれてい
ます。
どうか、たくさ
んの本と出会つて、
たくさん感動して
ください。

江頭
路子 みちこ

江頭路子

市内在住の絵本作家。熊本大学教育学部卒業。雑誌や教科書などの挿絵も手がける。水彩を使用した透明感のあるイラストレーションに定評がある。

本 はさまざまなお出合いを
与えてくれます。

人だったり、知識だったり、
体験や想像だったり、
はたまた夢だったり。本は
あらゆる世界への扉です。

皆さんはどうやってそのような本と出
会っていますか。三島では図書館、学
校の司書さんや先生、家庭文庫、多く
のボランティアが手をつなぎ、皆さん
が本と良い出会いができるようサポー
トしてくれています。

三島はそんな素敵なお出合いです。た
くさんの本とお会い、たくさんの世界
とつながってください。もちろん、わ
たしとも！

スギヤマ
カナヨ

スギヤマカナヨ

三島市出身の絵本作家。東京学芸大学初等科美術卒業。その後、渡米しエッチングを学ぶ。『ペンギンの本』で講談社出版文化賞受賞。



本を読もう



本との出会いを届ける！本はともだち

●ようこそ、てんとうむし文庫へ

市内3カ所（芙蓉台・佐野見晴台・光ヶ丘）の自宅に本を置いて、1週間に1度貸し出しをしている小さな図書館です。ずっと本を読むことができたり、一緒に本を選んだり、本との出会いの楽しみがたくさんあります。本の貸し出しのほかにおたよりの発行、スギヤマカナヨさんや編集者とのワークショップも行っています。文庫にはいつも本が待っています。詳しくはホームページ (<https://mishima-life.jp/tentoubunko>) をご覧ください。



●学校図書館の取り組み

市では全国に先駆けて17年前から現在の「学校司書」として「学校図書館司書」を、市内の全小・中学校に配置しています。司書たちは、子どもたちの読書活動を支援して来ました。保護者ボランティアや、さまざまな立場の「本と子どもをつなぐ」人たちの連携の成果により、今年度、徳倉小学校が「子どもの読書活動優秀実践校・文部科学大臣表彰」を受けました。

▶徳倉小学校では、子どもが本に興味を持つような取り組みをしています

